

はじめての
「住活」スケジュール

はじめに

家を建てる決心をしたけれど、何からはじめたらいいのかわからない。そんな声をよく聞きます。

この冊子はこれから家づくりを始めようとしている人に、“はじめての住活（住宅取得活動）”をテーマに、家づくりの大まかな流れと、そのポイントを簡単に説明しています。

どのタイミングで何をしたらよいか、住活で一番大切なポイントなど、家づくりがはじめてという人の悩みや不安に応えます。

家づくりは、思い立ってすぐにできるものではありません。できるだけ余裕をもって、スケジュールを組み立てていくことが、理想の住まいづくりへの近道です。

はじめての人にとっては、完成までの道のりが、長く大変なものであるかもしれませんが、その分、できたときの喜びは大きいはずです。

もし、立ち止まっている人がいたら、この冊子を手にとってみてください。
一歩前進する手助けになれば幸いです。

もくじ

はじめに	1
家づくりのスタートは、情報を集めることから	5
家ができるまでのスケジュールをおさらい	8
土地探し、土地選びのポイント	11
信頼できるパートナーを見つけよう。建築会社の選び方	14
営業マンの見分け方、営業マンと賢く付き合う方法	17

住宅展示場や見学会に出かけてみよう！	20
トラブルを防ぐ。希望や要望の上手な伝え方	23
やっぱり大切な、お金とローンの話	26
いよいよ契約！捺印する前に気をつけたいこと	29
ついに夢のマイホームが完成！工事から引き渡しまで	32
おわりに	35

家づくりのスタートは、情報を集めることから

家を建てる決心が固まったら、さっそく情報収集に取りかかりましょう。

とはいえ、初めて家を建てるという人は、何をどうしたらいいのか戸惑ってしまいますよね。ここでは情報収集のポイントをわかりやすく簡潔にお話しします。

注文住宅、建売住宅、マンション、スマートハウスなど、住まいにはいろいろなタイプがありますが、共通して言えるのは、そこでどんな暮らしがしたいのか、新しい家にどんな価値を得たいのかをよく検討して、家に対するこだわりをはっきりとさせておくことが大切です。この「こだわり」の部分が揺らいでしまうと、家づくりはスムーズにすすみません。また、そのこだわりを建築会社にきちんと伝えることで、イメージを共有でき、あなたの理想に近い、家づくりにつながります。

情報収集は、カタログや雑誌のほか、最近ではインターネットでさまざまな情報を手に入れることができるようになりました。家のイメージや建築会社の選び方、建てた人の体験談、果ては器具や設備を自分で手に入れることができると、振り回されてしまい、方向性を見失う人も少なくありません。自分に必要な情報と、そうでない情報とを振り分けるためにも、やはり、自分自身のこだわりはつきりさせておきたいものです。

インターネットは、家にいながらにして多くの情報を得ることができると便利なツールです。大手のハウスメーカーはもちろん、地元工務店や不動産会社でも、今はほとんどの会社でホームページを持っているので、その会社が手がけた住宅の様子や雰囲気を確認しておくみましょう。ホームページから資料請求できる場合も多いので、気になったところがあれば、積極的に資料を請求してもかまいません。現場見学会や内覧会などからも、旬の情報を得ることもできます。